©Sambuichi Architects

建築は未来への手紙

三分一博志 建築家

［講演会］京都精華大学×京都府建築士会

2018年5月26日（土）
14:40-16:10（開場14:10）

会場 京都精華大学 明窓館 M-201講義室

※通常のアセンブリーアワーと会場が異なります。ご注意ください。
（アクセス：地下鉄烏丸線国際会館駅よりスクールバス［無料］で約8分。叡山電鉄京都精華大前駅下車すぐ）
※建築士会継続能力開発（CPD）制度対象講座です（対象者のみ該当、CPD単位：2単位）。

申込不要（無料／先着順）

本講演会は京都精華大学「アセンブリーアワー講演会」と、京都府建築士会「建築家セミナー」との共催で開催します。

共催：（一社）京都府建築士会青年部会

【問】京都精華大学社会連携センター 京都市左京区岩倉木野町137 ☎075-702-5263 garden@kyoto-seika.ac.jp

KYOTO SEIKA UNIV.
50th ANNIVERSARY

さんぶいち・ひろし●1968年生まれ。建築家。いかにして建築が地球の一部になるかを一貫したテーマとし「地球のディテール」を提唱。瀬戸内を活動の拠点とし、「犬島精錬所美術館」で日本建築学会賞作品賞、日本建築大賞をダブル受賞。世界遺産厳島神社のある宮島の「弥山展望台からの眺望」がミシュラン・グリーンガイド3つ星（フランス）。「直島ホール」でWallpaper* Design Award（イギリス）と日本建築学会賞作品賞、BCS賞受賞。2017年日本・デンマーク外交関係樹立150周年親善大使に就任。150周年関連事業の一環としてCisternerne Pavilion「the Water」。その他代表作に「六甲枝垂れ」（兵庫）、「おりづるタワー」（広島）など。現在、デンマーク王立芸術アカデミー教授（非常勤）。